

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1)学校教育目標の具現化と教育活動の充実
 (2)やりがいを感じられる職場づくりと信頼される教職員集団の確立
 (3)安心安全な教育環境づくりの推進
 (4)開かれた学校づくりの推進

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果		学校関係者評価の結果	
学習指導	確かな学力の育成について、教職員全体で意見交換し、基礎学力向上等の方策を明確にしながら、協働によって成果を高められる余地がある。	達成度 B	小中学校の頃からずっと見てきた中で、今まで目立たなかった生徒たちが、驚くほど成長していて誇らしく思います。	評価 A
改善方策	・主体的・対話的で深い学びの視点により、学習指導及び学習評価の充実を推進する。			
生徒指導	教師と生徒との信頼関係、生徒相互のよりよい人間関係を育む学級経営と共に、特別なニーズを持つ生徒について、教育相談の充実が重要である。	達成度 A	学校で見せる姿、家庭で見せる姿の他、インターネット上での問題も出現するなど、学校と保護者との連携の重要性が増している。	評価 A
改善方策	・個別面談、教育相談のさらなる充実を図っていく。			
進路指導	きめ細やかな個別指導を継続すると共に、総合的な探究の時間の学習を体系的に進め、3年間を見通した進路指導の体制を構築する必要がある。	達成度 B	生徒一人ひとりの進路の実現のため、努力を惜しまない先生方の姿勢に感謝いたします。	評価 A
改善方策	・総合的な探究の時間の体系的実施、及び全校体制による計画的な進路指導の実施。			
健康安全指導	新型コロナウイルスの感染状況に応じ、適切に対応することができた。方法が変わっても、所期の目的が果たせるよう、教育活動の工夫が大切である。	達成度 B	新型コロナの影響で、行事の縮小や変更が生じたが、生徒たちが満足していたようで良かった。	評価 A
改善方策	・ウィズコロナに即した運営体制により、安心安全で充実した教育環境の整備を行う。			
信頼される学校づくり	コロナ禍で行事等の変更を余儀なくされたが、家庭・地域との連携、教育活動の説明と理解の促進に努めてきた。	達成度 B	学校だよりの町広報への折込ができなくなるなど、高校の実態を知る機会が減っている様に思う。新聞記事やインターネットの活用を期待する。	評価 A
改善方策	・教育成果を地域等と共有できる学校づくりを推進する。			
組織運営	教職員のコミュニケーションの活性化と到達目標の共有を促進し、協働して業務に当たる雰囲気を醸成することが重要である。	達成度 C	地域住民は協力を惜しまないと思うので、地域の教育資源を最大限に活用したら良いと思う。地域の人とも高校と関われることは嬉しいと思う。	評価 A
改善方策	・教職員間のコミュニケーションの深化により、情報と意思の共有を促進する。			
教職員の専門性の向上	学校経営方針に基づく業務の推進、個々のキャリアに応じた自己研鑽に努めた。また、服務規律の堅持に努めた。	達成度 B	コロナ禍で思い描く指導が十分にできないかも知れないが、生徒が目指す目標達成のため、ご尽力をお願いします。	評価 A
改善方策	・オンラインによる研修の機会も活用しながら、教職員の専門性の向上を目指す。			
公表方法	・学校 Web ページ、学校通信、学校評議員会にて公表する			

達成度 A：達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：達成できなかった
 評価基準 A：十分評価できる B：まずまず評価できる C：一部見直しが必要である
 D：根本的な見直しが必要である